

人権コラム 心、豊かに

◆様々な“無意識の偏見”

皆さんは「アンコンシャス・バイアス」という言葉をご存知でしょうか。あまり聞きなじみがないかもしれませんが「無意識の偏見」を意味する言葉です。これは誰もが持っているもので、それ自体が悪いわけではありません。しかし、状況によっては様々な人権問題の原因になってしまう場合があります。

例えば、大雨で警報などが出ても「自分は大丈夫」「まだ問題ない」と思ったことはないでしょうか。これは「正常性バイアス」といって、自分にとって都合の悪いことなどを過小評価してしまう無意識の偏見の一種です。ときに正常性バイアスは、もしも自分がハラスメント等の加害者になっていたとしても「自分の行動に問題はない」と考えてしまい、被害者を傷つけていることに気付けないことがあります。

また、「血液型がA型の人は〇〇な性格で、B型の人は△△だ」といったような勝手なイメージを持っていることはないでしょうか。これも「ステレオタイプバイアス」という無意識の偏見の一種です。ある特定の集団や属性を持つ人に対して持っている先入観を常識だと思い込んで、それとは反対の事例があっても、「少数の例外である」ととらえてしまうことがあるため、相手に正しい評価ができないことがあるのです。

その他にも、「有名な人が言っているから本当のことだろう」と考えてしまう「権威バイアス」や過去の自分を過大評価してしまう「自己奉仕バイアス」等といった、行き過ぎてしまうと人権侵害になりかねない無意識の偏見もあるのです。

このように、無意識の偏見は誰もが持っているものなので、誰もが当事者になる可能性があります。誰かを傷つけないためには、自分にも「無意識の偏見」があることをしっかりと自覚することが必要です。まずは日々の生活を振り返って、自分の言動に思い当たるものがないかチェックしてみるのも良いのではないのでしょうか。